

平成 20 年 11 月 14 日

平成 20 年度国立大学図書館協会海外派遣事業
Fall 2008 Associates Program, Mortenson Center for International Library Programs,
University of Illinois 参加報告書

神戸大学附属図書館
鳥谷和世

このたび、標記プログラムに参加しましたので報告いたします。

1. 研修期間

平成 20 年 9 月 2 日（火）～10 月 31 日（金）

2. 研修内容

- (1) Lectures: 目録業務、資料の電子化、オープンソースソフトウェアから資金調達まで幅広いテーマに関するイリノイ大学内外から招かれた講師による講義
- (2) Copyright Seminar: eIFL が開発中のオンライン自習コースのパイロット版に参加
- (3) Tours: 主な訪問先は以下の通り
 - 大学図書館（イリノイ大学シカゴ校医学図書館、インディアナ大学医学図書館等）
 - 公共図書館（Westerville Public Library、Urbana Free Library 等）
 - 学校図書館（イリノイ大学附属高校図書館等）
 - 関係諸団体（ALA、LTLIS、OCLC 等）
- (4) Conference Participation: 2008 Illinois Library Association Annual Conference
への参加（自国紹介プレゼンテーションを行った）
- (5) Interviews With Librarians: イリノイ大学図書館員への個別インタビュー
- (6) Workshop 等: 一般図書館員向けの研修ワークショップへの参加など

3. 研修効果

プログラムで提供されたセッションは通常の講義形式のものから図書館及び関連団体への訪問、会議参加など多岐に及び、これらを通じてアメリカにおける図書館の現状に関する知識のみならず、図書館をとりまく状況やその背景についても理解を深めることができたと感じている。

また、様々な文化的・社会的背景をもつ他国からの参加者は、所属する図書館の種類も多様で、彼らとの交流を通じて図書館員としての見聞を深めることができた。2 ヶ月に及ぶプログラムにともに参加した彼らとのネットワークは、今後とも貴重な財産として大切に活用していきたいと考えている。プログラム参加者のみならず講師、その他関係者との交流は、海外での英語による情報交換の貴重な経験となり、今後仕事を進めていく上で大きな自信となった。

研究テーマに関しては、イリノイ大学図書館員 4 人にインタビューを行う機会を得た。併せて、今回医学系図書館員の参加者が多かったことと、イリノイ・インディアナ両大学の医学図書館を訪問する機会があったことは、貴重な経験となり、調査研究のための材料を収集することができ、充実した調査研究が行えた。